

平成 21 年 4 月 1 日

記者クラブ御中

財団法人 長瀬科学技術振興財団 平成 21 年度の助成決定について

大阪市西区新町一丁目 1 番 17 号
財団法人 長瀬科学技術振興財団
理 事 長 長 瀬 英 男

当長瀬科学技術振興財団の平成 21 年度の助成 15 件を、選考委員会及び理事会において下記のとおり審査、決定いたしましたのでご通知いたします。

当長瀬科学技術振興財団は、生化学及び有機化学等の分野における、科学技術の発展を願って平成元年 4 月に設立許可されたもので、今回が 21 回目の助成であります。

記

1. 助成金贈呈式

日 時	平成 21 年 4 月 24 日（金） 午後 5 時より
場 所	大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 大ホール

2. 助成金受賞者一覧表 添付別紙（No. 1）をご参照下さい

3. 助 成 金 額 37,500,000 円（研究助成 15 件合計）

4. 当財団の概要 添付別紙（No. 2）をご参照下さい

以 上

お問い合わせ : 大阪市西区新町一丁目 1 番 17 号
長瀬産業株式会社内
財団法人 長瀬科学技術振興財団
TEL 06-6535-2117

平成21年度助成金受賞者一覧表

(五十音順)

氏名	現職	研究テーマ
<生化学>		
饗場 浩文	名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授	分裂酵母の長生き遺伝子の解析と微生物発酵生産性向上への展開
飯野 亮太	大阪大学産業科学研究所 助教	1細菌マイクロアレイデバイスによる持続生残型細菌(persister)発生機構の研究
小川 順	京都大学微生物科学寄附研究部門 特定教授	嫌気性細菌に特異な還元的脂肪酸代謝の解析と応用
尾高 雅文	東京農工大学大学院共生科学技術研究院 准教授	時間分割構造解析に基づくニトリルヒドラーゼ触媒反応機構の解明
久本 秀明	大阪府立大学大学院工学研究科 准教授	生化学研究・診断を飛躍的に加速する簡便・迅速・高感度な1ステップマルチ免疫アッセイチップの開発
山本 博規	信州大学繊維学部 准教授	細菌細胞壁の合成・修飾・分解機構の解明
吉田 健一	神戸大学大学院農学研究科 准教授	バチルス属細菌による有用希少イノシトールの生産
<有機化学>		
磯部 寛之	東北大学大学院理学研究科 教授	単結合ピラーによる共役系拡張分子の設計・合成
市川 淳士	筑波大学大学院数理物質科学研究科 教授	新電子材料の開発に向けたヘリセン・アセン類の自在合成
市川 善康	高知大学理学部 教授	含窒素生体機能分子の新規合成法の開発
木村 正成	長崎大学工学部 准教授	新形式アリル化反応を活用した機能性有機材料の創製
忍久保 洋	名古屋大学大学院工学研究科 教授	ホウ素化ポルフィリンを活用する新規機能性 π 共役系の開発
林 雄二郎	東京理科大学工学部 教授	実用的なタミフルの全合成及びその誘導体合成
<生化学・有機化学>		
大高 章	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 教授	有機化学を基盤とするチオールプロテアーゼ機能ON/OFF法の開拓
永次 史	東北大学多元物質科学研究所 教授	機能性RNAを標的とした化学的遺伝子発現制御方法の開発

財 団 概 要

1. 名 称

財団法人 長瀬科学技術振興財団

(英文名：Nagase Science and Technology Foundation)

2. 所在地

大阪市西区新町一丁目1番17号

3. 理事長

長 瀬 英 男

4. 設立許可

平成元年4月26日

5. 基本財産

現 金 5億円

投資有価証券 約9億6千1百万円（平成21年3月末現在）

6. 目 的

この法人は、生化学及び有機化学等の分野における研究開発及び国際交流に対し助成等を行うことにより、科学技術の振興を図り、もって社会経済の発展に寄与することを目的とする。

7. 事業の概要

- (1) 生化学及び有機化学等の分野における研究に対する助成
- (2) 生化学及び有機化学等の分野における国際交流に対する助成
- (3) 生化学及び有機化学等の分野における研究成果の普及
- (4) その他本財団の目的を達成するために必要な事業

8. 主務官庁

文部科学省

(特定公益増進法人認可)

※ ホームページアドレス <http://www.nagase-f.or.jp/>